



収賄額0円、

不可解な汚職事件を

追って見えてきたのは――

闘う政治家が抹殺された背景に迫る
ドキュメンタリー映画

「知事 抹殺」の真実

監督・撮影 安孫子 亘 出演 佐藤 栄佐久

ナレーション 高橋春樹 / 音楽 野崎洋一 / エンディング曲 佐藤孝雄「本当のこと」 / 音楽コーディネーター DAIJI / 録音 沼尻一男 本橋大輔(アフタービート)
デザイン 株式会社ネギ / 製作デスク 塩谷奈津紀 / プロデューサー ナオミ / 企画 三田公美子 / 製作 株式会社ミルインターナショナル

2016 / 日本 / HD / 80min



藤前知事を逮捕

福島、そして国民の命を守るため、 佐藤栄佐久は巨大な力と命がけで闘った。

2006年9月、5期18年に渡り、県民とともに福島県を築いてきた佐藤栄佐久知事は、突然辞任させられた。何者かが作り上げた「謎の収賄事件」。

裁判の過程で明らかになっていく事実。裁判所は前代未聞の「収賄額0円」の有罪判決を出した。一体何の罪で有罪になったのか。報道は操作され、ゆがんだ情報に国民が惑わされた。

どうしても、佐藤栄佐久を政界から抹殺したかったわけとは。なぜ、原発に近づくものが消えていくのか。

佐藤栄佐久福島県知事は、中央政界での経験をもとに、独自の政治スタイルを確立。国に頼らない、地方色を生かした県政を進めてきた。原発立地県として、その安全神話が空っぽであると気づいた時から、巨大な力との果てしない戦いは避けられなかった。

市町村合併、道州制そして原発問題、押し寄せる国策に問題提起するとどうなるか。闘う知事と呼ばれた佐藤栄佐久は、自身の身を持って証明することとなる。

突然の辞任から逮捕、関係者への事情聴取、裁判に至るまでの検察側によるマスコミ報道の信用性。報道されなかった真実が、佐藤栄佐久の証言でいま明らかにされる。

3.11の日も「佐藤栄佐久知事」のままだったなら

—— 飯田 哲也 (環境エネルギー政策研究所 所長)

ニッポンが抱えている深き闇を鋭くえぐりだす

—— 手嶋 龍一 (外交ジャーナリスト・作家)

保守本流が暴いたこの国の病巣

—— 池田 香代子 (ドイツ文学翻訳家)

ズシンと胸にこたえる重い内容

—— 下村 満子 (ジャーナリスト)

検察による凶悪犯罪!?

—— 田原 総一郎 (ジャーナリスト)

栄佐久さんを抹殺してほんとうによかったのか

—— 西田 敏行 (俳優)

歴史は栄佐久知事を忘れない

—— 開沼 博 (立命館大学准教授)

収賄事件など断じて起こりようがない

—— 小沢 一彦 (環境教育研究会 名誉会長)

知事を抹殺する平和な国の「怪奇映画」

—— 中谷 健太郎 (九州 山形院法地 亀の井別荘)

投票の言葉全文は公式サイトにてご覧いただけます。

お問い合わせ

ドキュメンタリー映画「[知事抹殺]の真実」製作委員会事務局

電話: 070-3524-2781

公式サイト: <http://eisaku-movie.jp>

E-mail: clerk@eisaku-movie.jp

FaceBook: <https://www.facebook.com/eisakumovie>



日時: 2017年8月20日(日)13:30開場 14:00 開演 チケット1,000円

上映後、安孫子 亘 監督の舞台挨拶があります。(中高500円小学生以下無料)

場所: すまいるプラザ「オトスク」TEL 028-643-5151

〒321-0974宇都宮市竹林町1063-3(競輪場通り沿い)

問い合わせ先: とちぎ映画上映会(主催) TEL 028-621-7006

E-mail: office@bios-japan.jp

